

多摩府中保健所感染症週報

令和5年第22週（5月29日～6月4日）



今週の傾向

- ★新型コロナウイルス感染症は19週から定点把握対象疾患に追加されました。先週に引き続き報告数が増加しています。（定点医療機関当たり報告数 多摩府中 5.48 東京都 5.29）
- ★夏の感染症が増加傾向で今後の動向に注意が必要です。
 - （RSウイルス感染症：定点医療機関当たり報告数 多摩府中 1.52 東京都 1.39）
 - （ヘルパンギーナ：定点医療機関当たり報告数 多摩府中 1.86 東京都 2.44）
 - （手足口病：定点医療機関当たり報告数 多摩府中 0.19 東京都 0.39）
 - （A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：定点医療機関当たり報告数 多摩府中 2.14 東京都 1.81）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

5類移行後は、法律に基づく外出の自粛は求められませんが、発症後5日間かつ症状軽快後24時間程度を経過するまでは外出を控えることが推奨されています。

※濃厚接触者に特定されることはなくなり、外出の自粛を求められることはありません。
同居のご家族がコロナに感染した場合は、ご自身の体調に注意してください。

5類移行後の療養の目安

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
症状のある方	発症日	外出を控えることを推奨 [発症日を0日目として5日間] [かつ 症状軽快後24時間程度]					周りの方にはうつさないよう配慮 ・マスクの着用 ・高齢者等のハイリスク層との接触を控える。等					
症状のない方	検体採取日	外出を控えることを推奨 [検体採取日を0日目として5日間]										

管内の集団感染の状況

施設	疾患	今週の発生件数
学校・教育機関	インフルエンザ	4件
児童福祉施設	インフルエンザ	3件
	感染性胃腸炎	3件
高齢者福祉施設	COVID-19	2件
障害者福祉施設	-	-
医療機関	-	-

※保健所が相談を受けて把握したものを集計しており、実際の数と相違がある可能性があります。

★注目すべき感染症★
RS ウイルス感染症

夏場もあなどれない

RS ウイルス感染症にご注意ください！！



＜RS ウイルス感染症とは？＞

「RS ウイルス」による呼吸器系の感染症です。何度も感染と発病を繰り返します。
1 歳までに半数以上が、2 歳までにほぼ 100% の児が感染すると言われています。
例年秋から冬にかけて流行していましたが、
近年では 7 月頃より報告数の増加が見られるようになりました。

症 状

- 潜伏期間は 2～8 日。
（典型的には 4～6 日。）
- 発熱や鼻水など、軽い風邪様症状が続きます。
- 中には、喘鳴が出たり呼吸困難となったりと重症化することもある。
- 特に 1 歳以下で初感染の場合、肺炎などの重篤な症状を引き起こすことがあります。



● 保育施設で発生したら・・・
張り紙などで保護者へ通知し、
感染予防に繋げましょう。

予 防 ポ イ ン ト

感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」

- 飛沫感染を防ぐ
 - ・ マスク着用：咳やくしゃみが出る時、会話をする時など適切にマスクを着用しましょう。
 - ・ 換気：窓を 2 方向開けて空気の流れを作りましょう。
- 接触感染を防ぐ
 - ・ 手洗い：食事前、トイレ後、鼻をかんだ後など、こまめに手を洗いましょう。
 - ・ 環境消毒：子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。



＜大人の感染にも注意！＞

- ★ 大人が感染した場合、風邪のような症状であることが多いため、RS ウイルスに感染していると気付かないことがあります。
⇒ 咳などの呼吸器症状がある場合は、可能な限り 0～1 歳児との接触を避けることが乳幼児の発症予防に繋がります。
- ★ RS ウイルスは高齢者においても重症の下気道疾患を起こす原因となることが知られており、特に介護施設内などでの集団発生が問題となる場合があります。

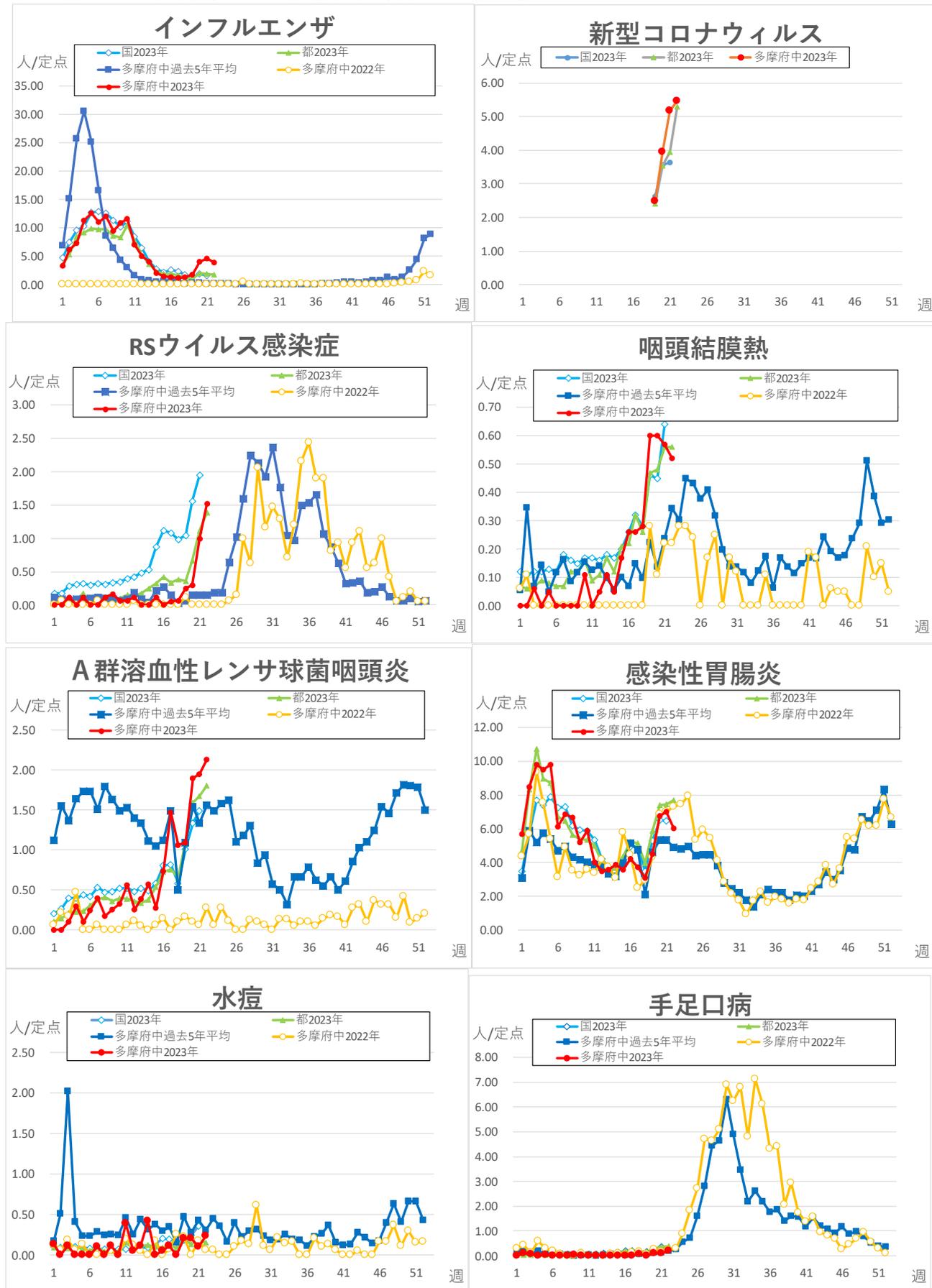


＜参考＞

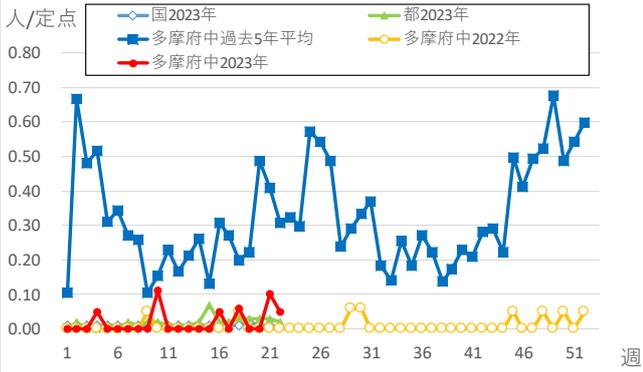
- 国立感染症研究所（RS ウイルス感染症とは）：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>
- 東京都感染症情報センター（RS ウイルス感染症）：<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/rs-virus/>

定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

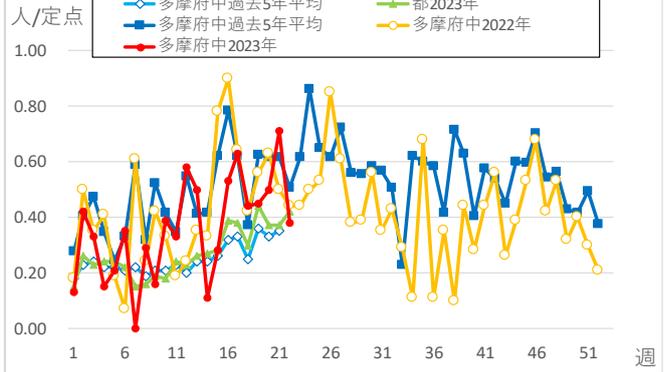
- ・週報告の定点把握対象の感染症について、定点あたりの患者報告数推移のグラフを掲載しています
- ・新型コロナウイルス感染症は19週から定点把握疾患に追加されました



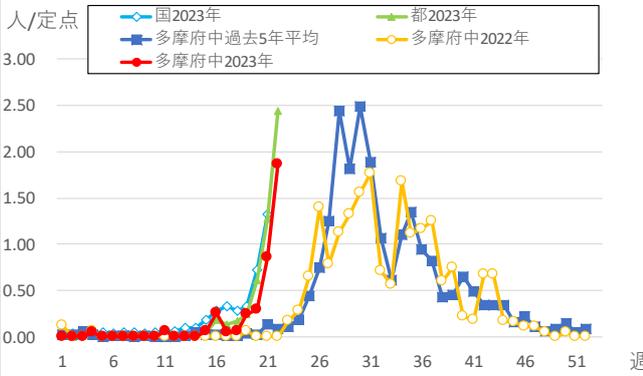
伝染性紅斑



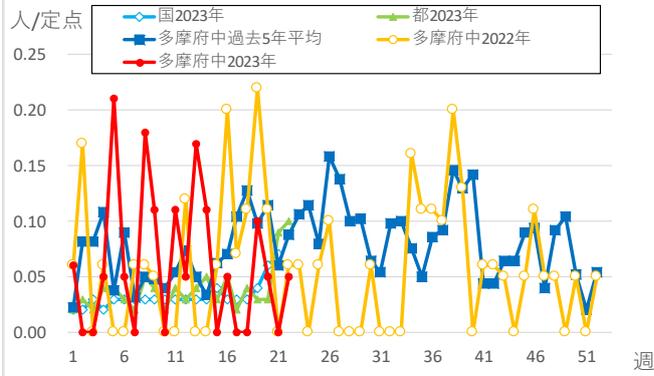
突発性発しん



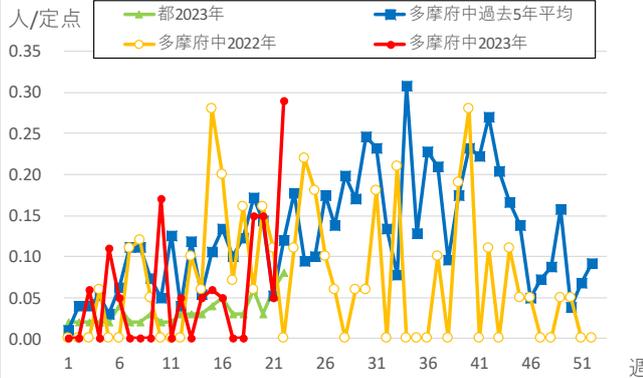
ヘルパンギーナ



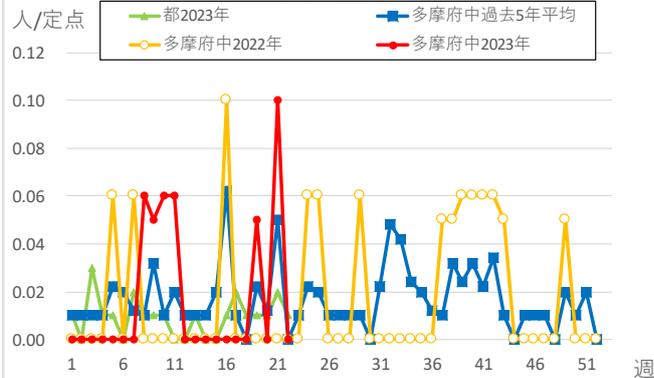
流行性耳下腺炎



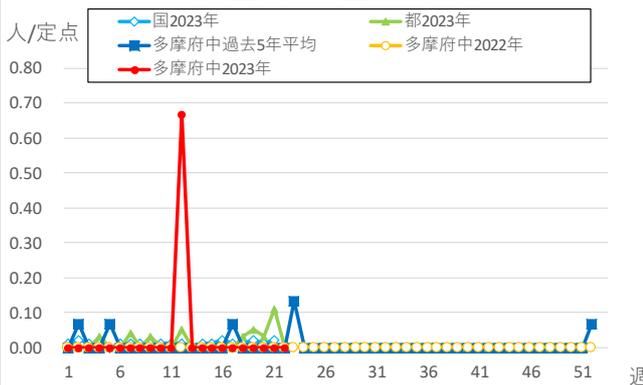
不明発しん症



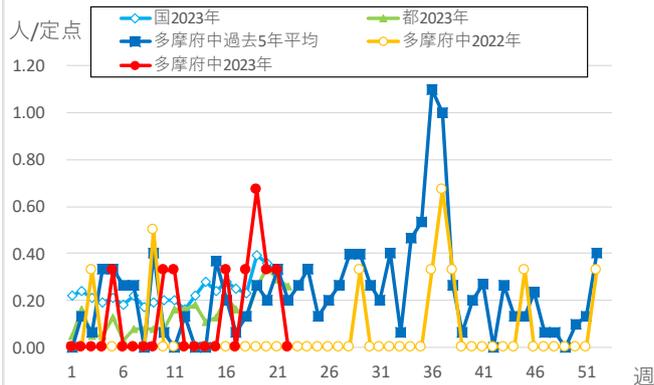
川崎病

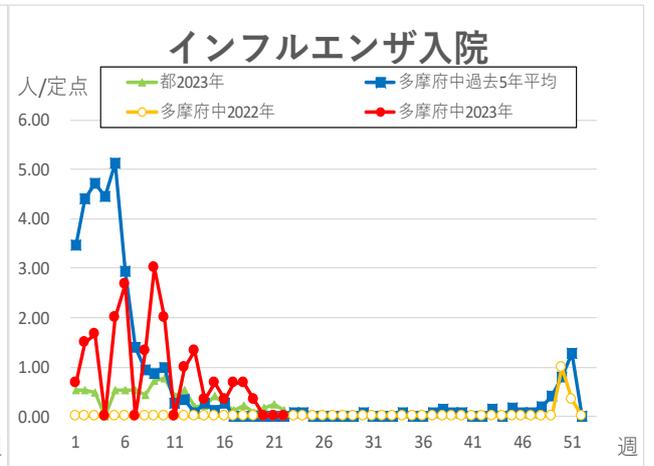
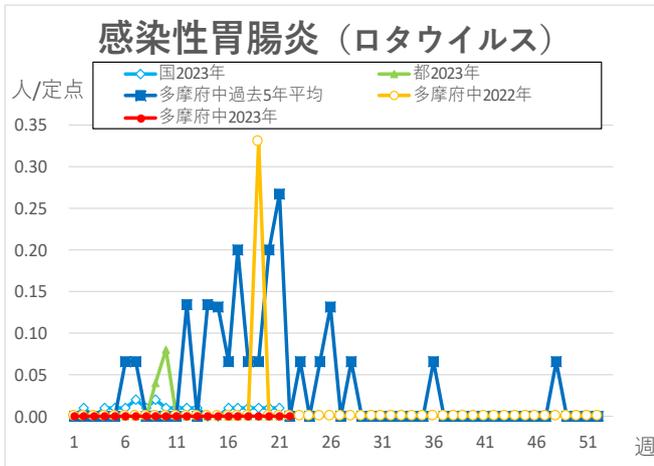
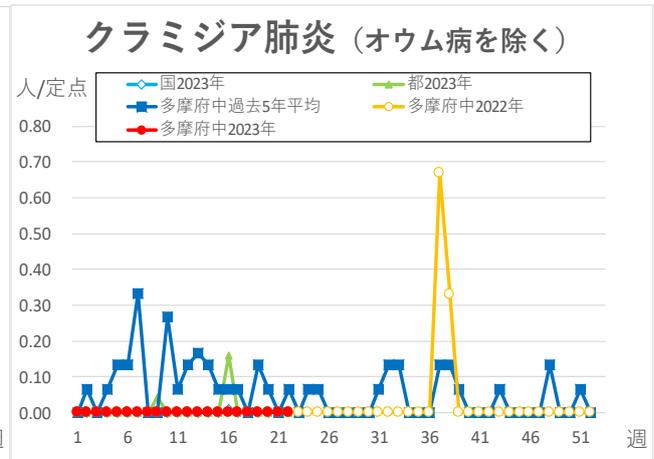
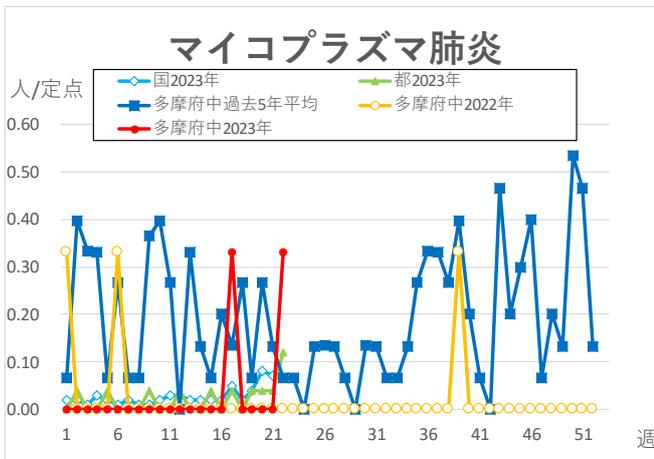
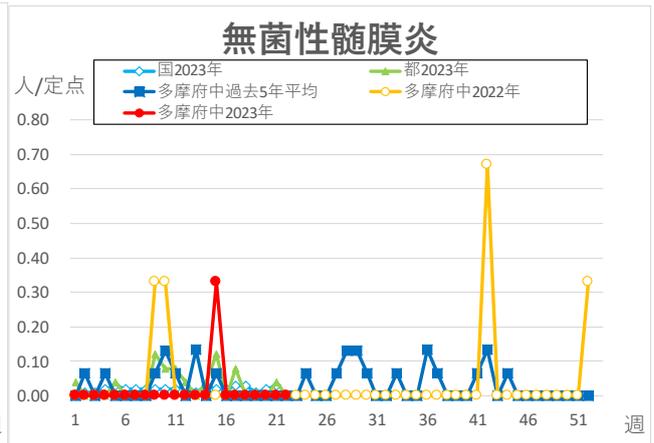
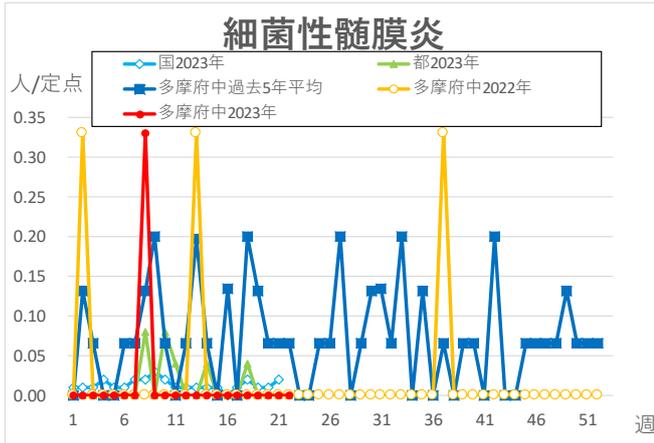


急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎





※本グラフは感染症の発生動向の概要をお伝えするため、下の出典の最新週のデータを追加して作成しています。
過去のデータの修正は反映されておりませんので、より正確なデータについては出典元をご覧ください。
国のデータは1週間遅れで掲載しております。

<出典>東京都、多摩府中のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>より WEB 感染症発生動向調査
国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

多摩府中保健所 保健対策課
感染症対策担当
Tel : 042 (362) 2334 (代表)

🔍 検索 多摩府中 感染症週報